

教科	数学	科目	数学A	単位数	2 単位	学年	3 年	コース	EAFL
使用教科書	啓林館『深進数学A』			使用副教材等	啓林館『深進準拠問題集 定着演習編 Axis 数学 I + A』				

目標	数学Aの内容における数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能、数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けるようにする。また、数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	数学Aの内容における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学Aの内容において、数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を備えている。	数学Aの内容における数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を備えている。
評価方法	・定期考査(80%) ・テキスト・プリント等の担当教員の指示する課題の提出状況(10%) ・課題テスト(10%)	・定期考査(80%) ・テキスト・プリント等の担当教員の指示する課題の提出状況(10%) ・課題テスト(10%)	・振り返りノート(80%) ・テキスト・プリント等の担当教員の指示する課題の提出状況(10%) ・授業態度(10%)

担当者からのメッセージ	新学習指導要領では上記3観点を基に評価を行います。評価の際には、定期考査はもちろんのこと、日々の課題への取り組み状況や未知の問題に対する粘り強い学習姿勢、常に自身の学習態度を改善しようとする姿勢が大きく関わってきます。授業を受ける際には、「教員の言葉や指導を傾聴し、常に学習態度の改善に励むこと」、「予習・復習等の家庭学習を継続的に行うこと」を大切にし、学習に臨んでください。
-------------	---

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4	第2章 図形の性質 第1節 三角形の性質 1 直線と角 2 三角形の重心・内心・外心	第1節 三角形の性質 【知識・技能】 ・三角形の性質を理解し、基礎的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・図形の見方を豊かにするとともに、図形の性質を見出し、論理的に考察することができる。 ・図形の性質を使って、問題を解くことができる。
	5	3 チェバの定理とメネラウスの定理 4 三角形の成立条件	
	6	第2節 円の性質 1 円周角の定理とその逆 2 円に内接・外接する四角形 3 接線と弦のなす角	第2節 円の性質 【知識・技能】 ・円における様々な性質を理解し、角の大きさや線分の長さの求め方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・円の様々な性質や定理を使って、角の大きさや線分の長さを求めることができる。
	7	4 方べきの定理 5 2つの円の位置関係	
2	9	第3節 作図 1 作図	第3節 作図 【知識・技能】 ・基本的な図形の性質から作図するための方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ・基本的な図形の性質を用いて実際に作図することができる。
	10	第4節 空間図形 1 空間における直線・平面の位置関係 2 多面体	第4節 空間図形 【知識・技能】 ・2直線や2平面の位置関係、直線と平面の位置関係、多面体などに関する基本的な性質を理解し、基本的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・2直線や2平面の位置関係、直線と平面の位置関係、多面体などに関する基本的な性質を数学記号を用いて表現することができる。
	11	第3章 数学と人間の活動 第1節 数学と歴史・文化 1 位取り記数法 2 ユークリッドの互除法 3 地球を測る	第1節 数学と歴史・文化 【知識・技能】 ・ユークリッドの互除法や二進法、空間座標などの意味について理解する。 【思考・判断・表現】 ・互除法を用いて2つの整数の最大公約数を求めることができる。 ・不定方程式を、整数の性質を使って解くことができる。
	12		

3	1	第2節 数学とゲーム・パズル 1 石取りゲーム 2 マスの敷き詰め	第2節 数学とゲーム・パズル 【知識・技能】 ・ゲームやパズルなどについて、数学的に考察できることを理解する。 ・ゲームの必勝法やパズルの解法を通じて、数学と文化の関りについて理解する。
	2		【思考・判断・表現】
	3		・石取りゲームについて先手と後手のどちらかがつねに必勝となることを、実際のゲームを行うことで考察することができる。 ・石取りゲームについて先手と後手のどちらかがつねに必勝となることを、数学を活用して考察し、論理的に説明することができる。